



岡本 ひとし

部落差別解消に特化した 条例制定の取組み

問 SNSやインターネット上には被差別地区を晒す動画が多数存在しており、差別されない権利が脅かされているが、認識を問う。

答 現実の課題として受け止めており、府・法務局並びに関係機関と連携し、差別事象の解決と人権意識の高揚に一層取り組んでいく。

問 首長自ら関係機関や法務省へ削除要請することが重要と考えるが、行動できないか問う。

答 過去の経緯を含め、再度要請できるか確認する。

問 能勢町人権擁護に関する条例は禁止条例ではない。人権施策推進計画



- ① 部落差別解消に関する条例制定に向けて
- ② 人口減少に対して町長の認識について

人口減少の取組み

問 本町における単独世帯の現状認識を問う。

答 特に高齢者世帯においては、食料問題に課題が存在していると認識している。

問 地域コミュニティの維持や崩壊にどのような取り組みのか、また、職員自ら能勢に帰郷することを望むが。

答 郷土愛によって帰ってくれる人を育てる施策を行いたい。

問 様々な課題の解決を克服し解決することが町長、副町長の優先課題だと思われるが認識を問う。

答 そのような認識であり、全力で取り組んでいく。

一般質問



難波 希美子

生物多様性(外来生物)

問 本町の外来生物についての取組みを問う。

答 アライグマ・ヌートリアの捕獲罠の貸出を行っている。

問 特定外来生物の被害で命に関わることがある事は認識しているか問う。

答 ヒアリ等がある。広報等の案内も検討したい。

問 本町は他と比べて特定外来生物の情報発信が非常に少ないので、今後案内が出来るか問う。

答 周知を図りたい。



建物の断熱

問 生活環境病の啓発などはしているのか。

答 啓発はしていないが、環境汚染物質発生時は府から注意喚起が来る。

問 住宅省エネ改修減税は16年間ホームページで案内をしているが利用状況を問う。

答 一度も利用されていない。

問 公共施設改修でも断熱を考慮出来ないか問う。

答 所管課が適切に対応すると考える。



- ① 生物多様性(外来生物)
- ② 建物の断熱
- ③ 里山景観

里山景観

問 ※再エネ条例の景観評価はどう測るのか問う。

答 事業者が測り、町が確認し、住民確認は無い。

問 里山景観は本町の財産だと思いが、認識は。

答 重要である。本町の計画は守る所と開発する所を分け、環境には配慮していく。

問 景観条例を本町でも制定してはどうか。

答 時期が来て場所を絞ってできるなら考える。



※再エネ条例「能勢町再生可能エネルギー発電事業と地域との共生に関する条例」